

△アメパロモ カプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 パロモマイシン硫酸塩 (PRM) Paromomycin Sulfate 【分類】 腸管アメーバ症治療剤

【単位】 △250mg/cap

【常用量】 1500mg/日 [6 Cap/日]

【用法】 1日3回, 食後, 10日間 (治療完遂すること)

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 微量に吸収された本剤の排泄が滞り, 血中濃度が高まる可能性があるため腎障害のある患者には慎重投与 (1)

【その他の報告】 減量の必要なし (5)

【特徴】 アミノグリコシド系抗生物質で, 蛋白合成阻害により作用する。腸管アメーバ症の治療に用いられる。腸内原虫及びシスト (嚢子) に対してのみ活性を有するため腸管外アメーバ症には適用できない。

【主な副作用・毒性】 腎障害, 第8脳神経障害, 好酸球増加症, めまい, 頭痛, 消化器症状など

【吸収】 ほとんど吸収されない (1, Bissuel F, et al: J Infect Dis 1994 PMID: 7915753) P-gp や CYP 阻害剤併用にて吸収率増大 (K Pinjari MJS, et al: Indian J Pharmacol 2017 PMID: 29326490)

【tmax】 2hr (1)

【代謝】 ほとんど代謝されない (1)

【排泄】 吸収されたものは腎排泄 (1) 尿中回収率 0.53% [po, 12hr まで] (1, Iwaki S, et al: Jpn J Antibiot 1981 PMID: 7321186)

【CL】 資料なし (1)

【t1/2】 2hr 程度 (1)

【蛋白結合率】 41.16% [イヌ] (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 615.63 (free base)

【透析性】 資料なし (1)

【O/W 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 聴器毒性又は腎毒性を有する薬剤, 麻酔剤, 筋弛緩剤との併用注意 (1)

【主な臨床報告】 内臓リーシュマニア症治療に適用 (Davidson RN, et al: Trans R Soc Trop Med Hyg 2009 PMID: 18947845)

内臓リーシュマニア症に 15mg/kg 筋注 21 日間の適用試験 (Verrest L, et al: Clin Pharmacokinet 2021 PMID: 34105063)

【備考】 包装単位 12Cap/ボトル

【更新日】 20240717

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。